

令和8年度 京都市立池田東小学校 学校経営方針

一人一人の子どもを徹底的に大切にす京都の教育

京都市の目指す子ども像

「伝統や文化に学び、
次代と自らの未来を創造する子ども」

重視する視点

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律し、協働する力」を高める

栗陵中ブロック小中一貫教育大目標

「個性と能力を伸ばし、自らの将来展望を広げ、
自らを切り拓く子ども」

目指す児童・生徒像

自ら進んで人・もの・ことに働きかけ、体験を通して課題を発見し、追求する子どもの育成

- ①基本的な生活習慣を身につけた子ども(あいさつ・早寝早起き・朝ごはん)
- ②自ら主体的に学習できる子ども(学習習慣と学力向上)
- ③法やきまり等ルールを守れる子ども(規範意識)
- ④思いやりの心をもって人と関わる子ども(人権文化)

【学校教育目標】 「心豊かに、自ら学び、自ら考える子」の育成

～ 自分から そして自分たちの力で 輝く池田東の子 ～

【目指す学校像】

- 多様性を受け止め、一人一人の子ども(命)を大切にす学校
- 体験・経験から学び、達成感・成就感があふれる学校
- 子ども—教職員—保護者—地域が信頼でつながる学校

池田東小の5つの「あ」

- あ いさつ あんぜん
- あ とかたづけ ありがとう
- あ ったかく

【目指す子ども像】

知「確かな学力」

★言葉やふしぎを大事にして
探究し続ける子★

社会に開かれた教育課程の中で、基礎・基本の徹底を土台に、自ら課題を見つけ、主体的に課題解決に取り組み、主体的・対話的で深い学びを通して学習する子ども

自ら学ぶ力

<育成したい資質・能力>

自ら律し、協働する力

主体性・言語力

「自ら課題を見つけ、協働して解決に向けて行動していく力」

徳「豊かな心」

★人やものを大事にするやさしい子★

学校全体の道徳教育を進める中で、自他ともに大切に行動し自尊心と共感的他者理解を高め、いじめは絶対に許さないという意識で互いに高め合う子ども

体「健やかな体」

★心と体を大事にする元気な子★

仲間と共に協力しながら運動に親しみ、自分や自分たちの健康や安全について考え、元気いっぱい活動できる子ども

【目指す教職員像】

信頼できる大人としてのモデルを示すことのできる教職員

- 愛情をもち、しっかりと子どもと向き合う教職員
- 柔軟性をもち、指導力の向上に努める教職員
- 情熱をもち、「子どもたちのために」努める教職員

子どもに指導することを実践(言葉遣い、行動、人権意識・自ら学ぶ・自ら律するなど…)

教職員の姿は最大の教育環境

○ 成功体験の積上げ

承認「できたね」「がんばっているね」

○ 失敗体験からの学び

指導「ここは直そう、あなたならできる」

○ 主体性へつながる雰囲気づくり

問い「どうしたらいいと思う？」

意欲づけ「よし、やってみよう」

学校経営の基本理念（要約）

本校は創立43年の歴史と伝統を継承しつつ、教育改革や社会の要請に応じ、関係法規や教育委員会方針に基づいた教育を推進する。「不易と流行」の視点を踏まえ、家庭・地域と連携した**社会に開かれた教育課程**の実現を目指す。

児童一人ひとりの幸福を基盤に、

○知・徳・体の調和

○主体的に課題に向き合う力（生きる力）

を育成し、教職員の協働による組織的教育活動の充実を図る。

重点目標と取組

1 確かな学力の育成

重点

- 「誰一人取り残さない」学力保障
- 主体的・対話的で深い学びの実現

主な取組

- ・校内研究を核とした授業改善（OJT）
- ・探究的学習（問いを重視）
- ・家庭学習の習慣化（自主学習・ICT活用）
- ・小中一貫教育の推進
- ・ユニット制・TTによる学力保障
- ・言語活動の充実（話す・聞く・書く・読む）
- ・読書活動の推進（100冊読書等）
- ・支援教育の充実（個別支援計画）
- ・英語教育・ICT教育（GIGA 端末活用）

2 豊かな心の育成

重点

- 自己指導能力と規範意識の育成
- 安心できる学校風土の構築

主な取組

- ・いじめ未然防止と早期対応
- ・不登校支援（オンライン活用含む）
- ・信頼関係に基づく指導（厳しさと温かさの両立）
- ・記録の徹底による組織対応
- ・挨拶・生活習慣の確立
- ・地域・文化体験の充実
- ・芸術活動・体験学習
- ・道徳教育の充実（体験型・問題解決型）

3 健やかな体の育成

重点

- 運動習慣と健康意識の向上
- 安全・安心な学校生活

主な取組

- ・体育授業・行事の充実
- ・遊びの推奨（休み時間活用）
- ・健康観察と生活習慣指導
- ・薬物・情報モラル教育
- ・感染症予防と正しい理解
- ・安全教育（生活・交通・防災）
- ・避難訓練・危機管理体制の強化
- ・食育（給食の活用、アレルギー対応）

4 地域ぐるみの教育

重点

- 家庭・地域との協働

主な取組

- ・学校運営協議会の活用
- ・学校公開・情報発信
- ・保護者・地域との連携（授業支援・体験活動）
- ・創立 43 周年を契機とした絆づくり

5 働き方改革

重点

- 教職員の業務効率化と心身の健康
- 教育の質向上につながる改革

主な取組

- ・業務改善・効率化
- ・勤務時間の適正管理（45 時間以内目標）
- ・定時退校日・電話対応時間の設定
- ・業務の分担と負担軽減
- ・創出時間を教材研究・指導改善へ活用